

# ファイバーボンド

■ 特殊ファイバー繊維配合内外装用タイル張付材 兼下地調整材 (ポリマーセメントモルタル)



タイルonタイル施工例

ユニオンファイバーボンドは、接着強さ等の長期耐久性に優れる高性能な粉末樹脂に加えクラックを効果的に抑制する特殊ファイバー繊維を配合したプレミックスモルタルです。

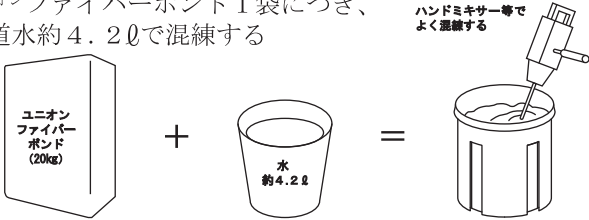
安定した強度と柔軟な施工性を有し、モザイクタイルから二丁掛タイルまでの施工に対応し、新築だけではなく、タイルonタイルなどの改装・リフォームにもお使い頂けます。

本製品は、1～3mmの下地調整材としてもご使用頂けます。

## 特長

- 1) 下地調整からタイル張りまで一材で施工が可能です。
- 2) 特殊繊維配合のためコテ作業性が良く、クラックの発生が抑制されると共に、変形追従性に優れています。
- 3) 既存のタイルの上からもタイル張りが出来ます。
- 4) 予め粉末樹脂を調合していますので現場で水を入れるだけで使用出来ます。

## 用途・性状

適用部位	内外装の壁面、床面
適用タイル	モザイク～二丁掛タイル、床タイル、内装用100角タイル等
適用下地	モルタル、コンクリート、PC板、ブロック、ALC 押出成形セメント板、既存タイル施工面等 ※1～3mm程度の下地調整材としても使用できます
練り置き時間	混練後、40分以内に使用して下さい
1回の塗り面積	約2㎡ (20分以内に張付けできる程度)
材料の調合	ユニオンファイバーボンド1袋につき、水道水約4.2ℓで混練する 
標準施工面積	約4.5㎡ (塗厚：3mm) 約2.7㎡ (塗厚：5mm)
色調	灰 (セメント色)
荷姿	20kg紙袋



## 施工方法

### 1. 下地処理

- 下地の脆弱部分はサンダーがけや高圧洗浄などで確実に除去し、欠損部等はタイル張り施工前に予め補修して下さい。付着したほこり、油脂等は荒い流して下さい。
- ※タイルonタイル施工の場合、既存施工面の接着強さに留意し、脆弱部分ははつり取る等して下さい。タイル張り施工の24時間以上前にユニオンファイバーボンドにて下地調整を行い養生を実施して下さい。

### 2. 吸水調整

- 吸水調整材ユニレックス3を水道水で5倍に希釈したものを施工面に塗布して吸水調整を行って下さい。塗布後、換装するまで放置して下さい。
- ※吸水の激しい下地（ALC等）の場合は、5倍希釈液を2回塗布して下さい。

### 3. 材料の調合

- 表面の材料の調合に基づき、機械器具で十分に混練して下さい。
- 混練後は、40分以内に使用して下さい。

### 4. タイル張り

- 1回の塗り面積は2㎡もしくは20分以内にタイル張りが出来る程度として下さい。
- 寝り混ぜた材料を下地に一度こすり塗りし、重ねて3～5mm厚に調整して下さい。
- タイルを張付け、目地部に張付材料が盛り上がるよう十分に叩き込んで下さい。
- 張付材料が柔らかいうちに目地修正を行い、目地部の余分な材料を除去して下さい。

### 5. 養生

- 目地材の施工までは2日間以上養生して下さい。

二瀬窯業(株) 試験室

## 試験成績表

試験項目		試験結果	品質性能基準
保水率 (%)		89.3	70.0以上
単位容積質量 (kg/ℓ)		1.80	1.80以上
接着強さ (N/mm <sup>2</sup> )	標準時	3.56	0.60以上
	温冷繰返し10サイクル後	3.34	0.40以上
長さ変化率 (%)		0.12	0.20以下
曲げ強さ (N/mm <sup>2</sup> )		8.0	4.0以上

品質性能基準：(一社)公共建築協会 既調合モルタル(タイル工専用)

## 注意事項

- 気温が3℃以下及び3℃以下になると予想される場合は、施工は行わないで下さい。
- 直射日光、風雨時にはシート掛けなど、十分な養生をして下さい。
- ユニオンファイバーボンドの保管は、パレット等を利用し、地面(床)から離して室内など湿気・通風を避ける場所にして下さい。
- 固まったものの使用は避けて下さい。
- ユニオンファイバーボンドには練水の他、弊社が特に指定するもの以外は混入しないで下さい。
- ユニオンファイバーボンドの品質保持期間は製造後3ヶ月です。

⚠ PL法に関しては袋の裏面をよくお読み下さい。

日本建築仕上材工業会登録	
登録番号	0709001
放散等級区分表示	F☆☆☆☆
問合せ先	<a href="http://www.nsk-web.org/">http://www.nsk-web.org/</a>



ISO 14001取得企業

施工要領・SDS等は別途ご請求下さい

20240701

プレミックスモルタルの総合開発メーカー

二瀬窯業株式会社  
<http://www.futaseyogyo.co.jp/>

本社・工場 福岡県飯塚市横田669  
〒820-0044 tel(0948)22-0447 fax(0948)29-0289

関東工場 千葉県木更津市新港15-8  
〒292-0836 tel(0438)30-7372 fax(0438)30-7472

福岡営業所 福岡県飯塚市横田669  
〒820-0044 tel(0948)22-0447 fax(0948)29-0289

名古屋営業所 愛知県清須市西枇杷島町弁天45 ヤマモリビル 1F  
〒452-0006 tel(052)509-2485 fax(052)509-2486

東京営業所 東京都港区芝2-27-8 マスマンビル 2F  
〒105-0014 tel(03)6453-6685 fax(03)6453-6686

大阪営業所 大阪府大阪市港区市岡元町2-8-18 ワールドビル 2F  
〒552-0002 tel(06)6583-3310 fax(06)6583-3325